

構想名:「信州IBLプロジェクト」が紡ぐ「探究県」長野発世界へつなげる学びのネットワーク



WWLで育成したい生徒の資質能力

社会の創造者としての力 自分らしく生きる力 グローバルなマインドセット



「信州IBLプロジェクト」が紡ぐ探究県長野発世界へ繋げる学びのネットワーク



探究活動の裾野拡大

ポータルサイトやオンライン講座を通じてより多くの生徒に探究学習の機会を提供



学びの発信力強化

学術プレゼン講座や全国フォーラムへの参加を通じて、学びのアウトプットの場を創出



多様な他者との対話

オンラインを活用し、国内外の様々な人々との対話による学びの充実



海外進学・留学支援

現役海外大学生との対話により主体的な進路選択とキャリアデザイン力を醸成



ALネットワークの最適化

連携校が行う高度な学びの発信と、県内各校から広がる学びの共有

まなび助ポータルサイト

デジタルコンテンツ60本以上を掲載。R8開設の遠隔授業配信センターで活用。

信州WWLグローバル講座

イノベティブなグローバル人材育成に資する講座を実施。遠隔地の学校からのオンライン参加増。

探究伴走者フォーラム

生徒の探究的な学びを支える教員向けオンライン研修の実施。全県から22校198名の教員が参加。

アカデミックプレゼンテーション講座

論理的思考や課題発信力を養うオンライン講座に生徒18名が参加。県教委主催の海外研修、全国フォーラムの事前学習としても活用。

全国高校生フォーラム派遣

5校11名の生徒を派遣。全国レベルの探究に学ぶとともに英語での発信力を向上。

WWLグローバルカフェ@長野県高校生探Qフェスティバル

JICAと連携し、高校生の国際協力活動を支援。「多文化共生」をテーマにパキスタンと中継したワークショップを開催。15名の生徒が発表。

オンライン同時双方向授業の実施

塩尻志学館高校と阿南高校(約100kmの遠隔地)をオンラインで結び「福祉」の同時双方向授業を実現。多様な考えに出会う機会を提供。

生徒・教員対象「海外進学講座」の実施

日本と海外の大学入試制度の相違点や求められる能力を理解し、自分の強みを把握することで、自ら進路を切り拓く意識を育む。

STEAM教育に資する学び協働的な学びの場づくり

FW小論文講座、生成AIプロンプトハンズオン研修、北陸新幹線サミット、グローバルプログラム

拠点校発のプログラムの伝播 出前講座の実施

アカデミックプレゼンテーション講座を屋代高校1学年120名を対象に実施。

生徒の成長分析:成果と課題

全11項目で成長を実感

「探究力アセスメント」によりWWLルーブリックで定めた3つの柱に基づく11資質・能力の全てにおいて、肯定的な自己評価(「できる」と回答)の割合が上昇。

特に成長が著しかった3つの能力

地域に根差したアイデンティティ



新しい価値や社会を創造する力



課題発見力



学びの姿勢が「受け手」から「発信者」へ

生徒の回答からは、「自ら問を立てる力」や「対話する力」の向上を実感し、学びの主体者へと変化している様子が見られた。

乗り越えたい3つの課題

- ①ゼロからの創造
- ②アクション持続力
- ③地域貢献に向けた行動力

今後の方向性

「グローバルな探究サイクル」の構築

世界で得たグローバルな視点を地域の課題解決に還元する探究サイクルの確立

成長プロセスを評価する探究伴走型支援

成果ではなく、生徒一人ひとりの試行錯誤や成長過程を評価し支える支援体制の強化

学校の枠を超えた学びの場の創出

オンラインを活用し、多様な生徒が集い、協働して学ぶ機会の創出

遠隔教育配信センターにおける知見の活用

令和8年開設の遠隔教育配信センターにおいてポータルサイトを活用することでWWL事業研究の成果を持続可能な形で展開